

**児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）**

公表： 2023年 2月 15日

事業所名 チャイルドハート桃園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	活動に応じて活動しやすいスペースを取るなど工夫を行っています。	・室内に関しては密にならないように活動内容に工夫を行っています。
	2	職員の配置数は適切である	3	3	放ディと合同活動の日は小学生、中学生と関わる環境を提供している。一緒に遊べる活動内容にしたり、年小学生にお世話ををして貰う等の工夫をしています。	・サポートI対応の児童の方以外にその日の状況によって1対1が必要な児童の対応に人数が不足していると感じる事がある。その時の為に1対1対応の環境を軽減し、常に集団で活動できる環境つくりに取り組んでいます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	3	階段の為成長に合わせて使い分け、階段の踏み外しが無いよう2段の手すりをつけて配慮しています。	・事業所が2階にある事で階段を利用しないといけない・身体が小さく、リュック等重たいものを背負って階段を上がるも手すりを体に合わせて取り付けており体に負担を感じない様改善しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	活動しやすい様に活動時には必要な道具のみ提供できるよう心掛けている。都度除菌をして提供しています。	清潔を維持するため、加湿、除菌を行い、毎日の環境管理チェックを行う、表にチェックしている。活動ごとに環境の切り替えを行っています。
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0	事業所の指針、事業所指針を定め、朝礼時唱和しています。	支援前には利用児童の方の支援目標や気になる事の改善支援方法をスタッフ間で周知し、終了時は振り返りを行っています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	保護者様には評価表を配布しご意見をいただいてます。	保護者様からのご意見ご要望はスタッフ間で周知し、より良い支援につなげています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	保護者様には評価表を配布しご意見をいただいてます。	保護者様からのご意見ご要望はスタッフ間で周知し、より良い支援につなげています。評価結果はホームページに公開しております。

8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0	毎年FC本部より外部評価をしてもらい課題をいただきしております。	改善点を把握し課題を見出し改善に努めています。
9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	チャイルドハートの本部研修、県や市が主催するリモート研修にスタッフ全員で参加しております。	研修後は研修報告を行いながら、振り返り資質の向上に努めています。
10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	チャイルドハート独自のアセスメントシートを用いながら保護者様とアセスメントを行い計画案の内容を確認していただき同意ををいただけております。	保護者様が同意していただいた計画案をスタッフ間でカンファレンスをして支援目標についての検討を行った後に個別支援計画書を作成しております。
11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	チャイルドハート独自のアセスメントシートを使用しモニタリングごとに保護者様と見直しを行っています。	アセスメントシートを基に発達状況を細かく把握しております。
12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	児童発達支援計画はガイドラインに沿って保護者様や児童の方にわかりやすいように支援内容を設定しております。	「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」については具体的な支援内容を記入できるよ心掛けてます。
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	支援前には利用児童の方の支援目標や気になる事の改善支援方法をスタッフ間で周知し行っています。	終了時は振り返りを行っています。次に繋げていきます。
14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	毎月職員会議を行いイベントの立案などを話合っています。	季節を感じられ行事や色々な感覚遊び、集団活動を行っています。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	支援目標に沿った療育を行えるように計画書を作成しております。	季節や天気、お子様の成長に沿って活動内容を工夫し、いろんなことに挑戦できるように内容を検討しています。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6	0	一人ひとりの課題や強みに応じて集団活動や個別活動を取り入れた計画書を作成してます。	支援目標に沿った療育を行える様に計画書を作成しています。

	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	朝礼時に児童の支援に関して支援内容、その日に児童担当を決めてます。	朝礼前にリフレッシュの為ラジオ体操を行ってその後、ホワイトボードにその日の支援ないよう、担当を書き出して統一します。
	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	終礼を行う。その日の申し送り、朝礼時での検討内容を話し職員全員で共有してます。	お休みの職員にも日誌、記録にて共有し周知徹底しています。
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	利用時の支援内容を記録に残してます。	支援内容の記録は個別で記録し改善点等は業務日誌に記録周知する等工夫をしています。
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	3か月から半年に一回モニタリングを行い保護者様と指導員と計画のいます。	保護者様に現状をお伝えし支援計画の見直しが必要に応じては短期間にモニタリングを行うこともあります。
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	代表で児発管が参加しています。	職員全員が児童の状況を再確認するため会議前には話し合い、職員誰もが伝えられる様内容を紙面化して対応しております。
	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0	子育て支援センターの方には相談や、助言をして頂いたりしております。	今後も相談、助言させてい忠樹支援に繋げていきたいと思っております。
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	6	該当児童はいません。	看護師不在のため受け入れは出来ませんが、関連機関と連携し助言いただく事があります。
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	6	該当児童はいません。	看護師不在にため受け入れは出来ません。
	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	幼稚園、保育園の入園児や他事業所を併用する際にも支援内容や成長の様子を資料にまとめて情報共有しております。	情報共有し移行支援が出来るようにしています。
	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	就学前の児童の各学校と連絡を取り支援内容や現況をお伝えし情報共有に努めています。	学校生活が円滑に行われるよう連携を取っていきます。

27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	センターを利用されているお子さんに関しては保護者様より資料を見せて頂いたりと情報を共有させて頂いています。	現在利用されている方については現況の共有を行い、センター主催の研修は代表が参加し研修報告にて知識を共有しております。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	3	コロナ禍の為、交流は出来ていなおりません。	事業所交流は出来ておりませんが、公園活動での地域のお子様と活動と一緒に遊ぶ事があります。
29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	6	コロナ禍の為、交流は出来ていなおりません。	コロナが落ち着けば交流の場を設けたいと考えております。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	事業所独自の連絡帳にてその日の様子をお伝えし情報の共有お行い支援に繋げております。	今後も連絡帳で伝えきれない情報や、直接お話したい事は都度連絡し支援について共有していきたいと思います。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	6	0	毎月お配りしています新聞の内容にご自宅でも取り組めるトレーニングをお伝えします。	保護者様やお子様が一緒に出来るトレーニングをお伝えしていきたいと思います。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	契約時に解りやすい説明を心掛けております。	時間も長くならないように不安にさせず、伝える力も備えて取り組んでいきます。
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	面談やモニタリングを行いお子様や保護者様のお困りを把握し支援計画に基づいた支援内容を丁寧に説明し一緒に検討しながら計画案に同意を頂いております。	同意いただいた計画案に基づき職員間でカンファレンスを行いその後計画書に署名捺印にて支援を共有していきます。
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	面談やモニタリングを行いお子様保護者様のお困りごと不安な事がお話しできる助言できる体制は整えております。	話しやすい、連絡しやすい環境作りを常に心掛けていきます。
35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6	現在感染症予防のため保護者会の開催はしておりません。	コロナ禍で活動を控えている為、今後時期を見て開催したいと思います。
36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	相談の申し入れがあつた際に迅速に対応できる体制を作つております。	相談があつた際には、その都度迅速に対応し解決策を提案できるように心掛けています。

説明責任等	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	・月に1度ピーチレターを発行している ・長期休み前には行事予定表等を発行しています。	日頃の様子が分かるようにブログで都度お知らせいたします。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	規約について入社時に事業所ごとで説明、新人研修などで周知徹底しています。 ・特に顔写真は事業所新聞、ブログ等用途によって掲載を控えています。	定期的に職員会議などで職員間でも申し送り行き周知徹底します。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	・意思の疎通の確認は一人一人に応じた確認しやすい方法で行っています。	・専門用語などわかりやすく伝えられるよう工夫しています。 ・保護者様にはイベントごとに手紙を配布するなど見える化でお知らせしていきます。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6	・コロナ禍の為、招待することは行えていません。	・保護者に説明、了承の上で地域の方は少人数であるが年末の行事では正月飾りを地域の方に指導してもらいながら製作するなどの交流を少しづつ行っています。
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	・マニュアルの作成をして職員には定期的に研修にて共有しています。 ・保護者様には契約の際には説明をおこなっています。	・研修の場を設けて、職員が対応できるよう周知していきます。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	・災害に備え毎月計画を立て訓練を実施しています。 ・解りやすいように絵カードで訓練の方法を知らせています。	・年に1回は通報訓練などの総合訓練や、消防署見学を行い避難訓練に興味をもてる環境を提供します。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	6	0	・契約時やアセスメントの際に保護者と確認をしています。	・服薬を行うことや、てんかん発作のお子さんはいません。ですが、毎日お子さんの体調の状況は保護者と連携し連絡帳に添付している体調表で確認しています。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	保護者より処方箋を頂いて内容を共有しています。	・保護者を通じて医師の指示に従い、職員間で共通認識しています。

45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	内容はファイルで綴り、職員が周知できるよういつでも見れる場所に設置しています。	・詳細を細かに「なぜ起きてしまったのか」「どう対応していくべきなのか」職員間で考え作成して行ます。
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	・年3回虐待防止員会を開催している ・事業所内研修を定期的に行っています。	・県などが主催している虐待研修に代表が参加し事業所内で研修を行っていきます。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	モニタリングで保護者様に説明し児童発達支援計画書に記載しています。	・今後も他害、本児の自傷行為、ややもえず抑える必要がある児童には支援の中で必要と思われる際には保護者に相談し説明、了承を頂き児童発達支援計画書に記載していきます。

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名 チャイルドハート桃園

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	3	0	活動に応じて活動しやすいスペースを取るなど工夫を行っています。	・室内に関しては密にならないよう活動内容に工夫を行っています。
	2 職員の配置数は適切である	0	3	3	児発と合同活動の日は小学生、中学生と関わる環境を提供している。一緒に遊べル活動内容にしたり、年小学生にお世話をして貢う等の工夫を行っています。	・サポートI対応の児童の方以外にその日の状況によって1対1が必要な児童の対応に人数が不足していると感じる事がある。その時の為に1対1対応の環境を軽減し、常に集団で活動できる環境つくりに取り組んでいます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	0	2	階段の為成長に合わせて使い分け、階段の踏み外しが無いよう2段の手すりをつけて配慮しています。	・事業所が2階にある事で階段を利用しないといけない・身体が小さく、リュック等重たいものを背負って階段を上がるも手すりを体に合わせて取り付けており体に負担を感じない様改善しています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0	0	事業所の指針、事業所指針を定め、朝礼時唱和しています。	支援前には利用児童の方の支援目標や気になる事の改善支援方法をスタッフ間で周知し、終了時は振り返りを行っています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0	保護者様には評価表を配布しご意見をいただいています。	保護者様からのご意見ご要望はスタッフ間で周知し、より良い支援につなげています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0	保護者様には評価表を配布しご意見をいただいています。	保護者様からのご意見ご要望はスタッフ間で周知し、より良い支援につなげています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0	0	毎年FC本部より外部評価をしてもらい課題をいただいております。	改善点を把握し課題を見出し改善に努めています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0	チャイルドハートの本部研修、県や市が主催するリモート研修にスタッフ全員で参加しております。	研修後は研修報告を行いながら、振り返り資質の向上に努めています。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	チャイルドハート独自のアセスメントシートを使用しモニタリングごとに保護者様と見直しを行っています。	アセスメントシートを基に発達状況を細かく把握しております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するためには、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	0	毎月職員会議を行いイベントの立案などを話し合っています。	季節を感じられ行事や色々な感覚遊び、集団活動を行っています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	0	毎月職員会議を行いイベントの立案などを話し合っています。	季節を感じられ行事や色々な感覚遊び、集団活動を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0	支援目標に沿った療育を行えるように計画書を作成しております。	季節や天気、児童の方の成長に沿って活動内容を工夫し、いろんなことに挑戦できるように内容を検討しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	0	支援前には利用児童の方の支援目標や気になる事の改善支援方法をスタッフ間で周知し行っています。	終了時は振り返りを行っています。次に繋げていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	一人ひとりの課題や強みに応じて集団活動や個別活動を取り入れた計画書を作成します。	支援目標に沿った療育を行える様に計画書を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	0	朝礼時に児童の支援に関して支援内容、その日に児童担当を決めます。	朝礼前にリフレッシュの為ラジオ体操を行ってその後、ホワイトボードにその日の支援ないよう、担当を書き出して統一します。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	0	終礼を行う。その日の申し送り、朝礼時での検討内容を話し職員全員で共有します。	お休みの職員にも日誌、記録にて共有し周知徹底しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	朝礼時に児童の支援に関して支援内容、その日に児童担当を決めます。	支援内容の記録は個別で記録し改善点等は業務日誌に記録周知する等工夫をしてます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	3か月から半年に一回モニタリングを行い保護者様と指導員と計画の見直しを行ってい	保護者様に現状をお伝えし支援計画の見直しが必要に応じては短期間にモニタリングを行うこともあります。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6	0	0	コロナ禍で制限があるが出来る限り努力しています。	ガイドラインの中から個々にあつた項目をいくつか選択して支援計画を作成してその計画に基づいて支援行います。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0	代表で児発管が参加している。	職員全員が児童の状況を再確認するため会議前には話し合い、職員誰もが伝えられる様内容を紙面化して対応している
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	0	0	学校との情報共有を行っています。	送迎時や、保護者を通して、電話等で対応していき、両者で出来る対応をしっかりと行っていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	0	6	該当児童なし	看護師不在にため受け入れは出来ません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0	0	就学前の児童の各学校と連絡を取り支援内容や現況をお伝えし情報共有に努めています。	学校生活が円滑に行われるよう連携を取っていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	0	6	該当児童はいません	今後そのような利用者が出てきた際には情報提供をする準備は出来ています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	0	センターを利用されているお子さんに関しては保護者様より資料を見せて頂いたりと情報を共有させて頂いています。	センターを利用されているお子さんに関しては保護者様より資料を見せて頂いたりと情報を共有させて頂いています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	1	3	コロナ禍の為、交流は出来ていない	事業所交流は出来ておりませんが、公園活動での地域のお子様と活動と一緒に遊ぶ事があります。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	0	0	6	コロナ禍の為、交流は出来ていない	コロナが落ち着けば交流の場を設けたいと考えております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0	事業所独自の連絡帳にてその日の様子をお伝えし情報の共有お問い合わせに繋げております。	今後も連絡帳で伝えきれない情報や、直接お話したい事は都度連絡し支援について共有していきたいと思います。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	0	0	毎月お配りしています新聞の内容にご自宅でも取り組めるトレーニングをお伝えしています。	保護者様やお子様が一緒に出来るトレーニングをお伝えしていきたいと思います。

	チェック項目	はい	どちらともいえないと えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0	契約時に解りやすい説明を心掛けております。	時間も長くならないように不安にさせず、伝える力も備えて取り組んでいきます。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0	相談の申し入れがあつた際に迅速に対応できる体制を作っております。	相談があつた際には、その都度迅速に対応し解決策を提案できるよう心掛けています。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	0	6	現在感染症予防のため保護者会の開催はしておりません。	コロナ禍で活動を控えている為、今後時期を見て開催したいと思います。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	苦情の申し入れがあつた際には迅速に対応できる体制を作っています。	苦情があつた際には、その都度迅速に対応し、謝罪、今後の対応、解決策を提案できるように心掛けています。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0	・月に1度ピーチレターを発行している ・長期休み前には行事予定表等を発行しています。	日頃の様子が分かるようにブログで都度お知らせいたします。
	35 個人情報に十分注意している	6	0	0	規約について入社時に事業所ごとで説明、新人研修などで周知徹底している。	定期的に職員会議などで職員間でも申し送りを行い周知徹底する。 ・特に顔写真は事業所新聞、ブログ等用途によって掲載を控えています。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	・意思の疎通の確認は一人一人に応じた確認しやすい方法で行っています。	・専門用語などわかりやすく伝えられるよう工夫しています。 ・保護者様にはイベントごとに手紙を配布するなど見える化でお知らせていきます。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3	3	・コロナ禍の為、招待することは行えていません。	・保護者に説明、了承の上で地域の方は少人数であるが年末の行事では正月飾りを地域の方に指導してもらしながら製作するなどの交流を少しづつ行っています。
非常時等の	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	0	・マニュアルの作成をして職員には定期的に研修にて共有しています。 ・保護者様には契約の際には説明をおこなっています。	・研修の場を設けて、職員が対応できるよう周知していきます。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	・災害に備え毎月計画を立て訓練を実施しています。 ・解りやすいように絵カードで訓練の方法を知らせています。	・年に1回は通報訓練などの総合訓練や、消防署見学を行い避難訓練に興味をもてる環境を提供しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	・年3回虐待防止員会を開催している ・事業所内研修を定期的に行っています。	・県などが主催している虐待研修に代表が参加し事業所内で研修を行っていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行つかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	0	モニタリングで保護者様に説明し必要な時は児童発達支援計画書に記載しています。現在対象となる児童はいません。	・今後も他害、本児の自傷行為、ややもえず抑える必要がある児童には支援の中で必要と思われる際には保護者に相談し説明、了承を頂き児童発達支援計画書に記載していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	0	保護者より処方箋を頂いて内容を共有しています。	・保護者を通じて医師の指示に従い、職員間で共通認識していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	0	内容はファイルで綴り、職員が周知できるよういつでも見れる場所に設置しています。	・詳細をを事細かに「なぜ起きてしまったのか」「どう対応していくべきなのか」職員間で考え作成して行ます。